

不明疾病の現地調査表 (病鑑No.290)

1 届出年月日時間：平成22年6月1日 10:40

2 届出者：[REDACTED]

3 発生農場：[REDACTED]

氏名：[REDACTED]

住所：川南町大字平田 [REDACTED] ※農場が町境にあり、事務所は高鍋町に入る)

4 飼養頭数：肥育豚4733頭、育成82頭 計4815頭

5 家畜保健衛生所立入調査

・12:35 農場到着

・14:15 採材終了

6 病畜の概要

農場稟告 (6/1)

5/23, 24 ワクチン接種

糞尿を外に出していないためか死亡豚が増えた (30日2頭、31日3頭、1日8頭)。汚れの激しいB-2からきれいなA-2棟に豚を移動させるため豚を洗ったところ数頭の鼻に水泡を認めた。半数ほどA-2棟に移動させた。

家保立入 (6/1) 岩田・久保・和田

A-2棟の複数の豚房において鼻・蹄の糜爛や跛行を示す豚を認めた (10頭以上)。鼻の糜爛は新鮮ではなく、治癒過程である印象を受けた。

採材No. 1~3: 鼻・蹄に糜爛

7 給与飼料：[REDACTED] (運搬は[REDACTED]、運搬車はほぼ専属であり当該農場を含め2農場程しか回っていない)

8 過去7日間に立ち入った者の有無

管理者は[REDACTED]と従業員6人。うち2人は繁殖農場 (5/6発生) に入ったため、今月から[REDACTED]と4人で管理している。[REDACTED]は発生以降ワクチン接種の23日まで事務所に泊まり込み、従業員は毎日2人が出勤し、1日交替で勤務。

ワクチン接種班は3人で、うち2人が農場に入った。従業員は全員出勤し、ワクチン接種を行った。

従業員は牛・豚の飼育はしておらず、繁殖農場とは発生以降接触なし。

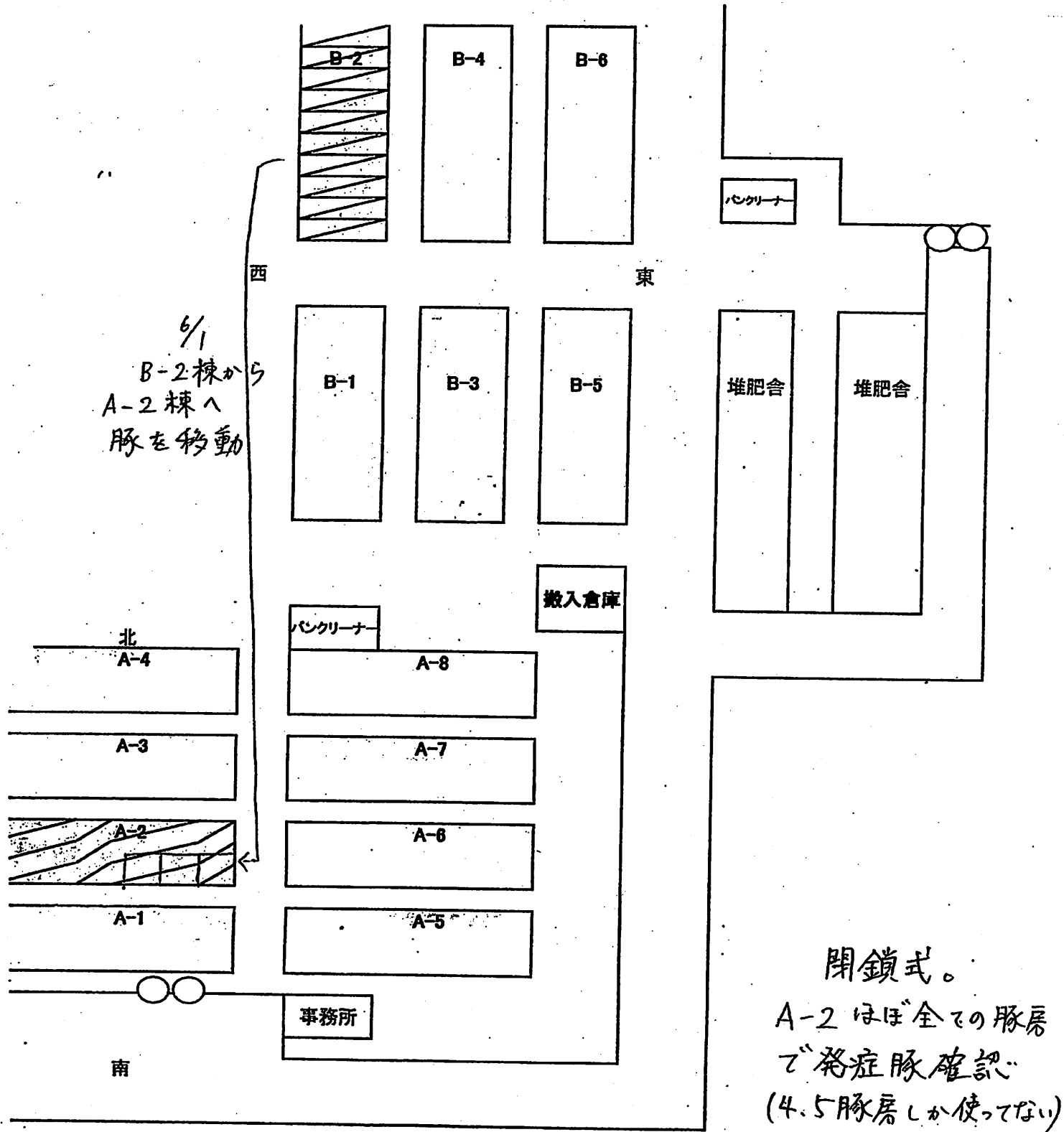
9 その他

近隣に[REDACTED]・事業団 (全て発生)

(258)

検体リスト

検体No.	用途	血液	スワブor組織	症状	写真
1	肉豚	○	○	鼻・蹄の糜爛	○
2	肉豚	○	○	鼻・蹄の糜爛	○
3	肉豚	○	○	鼻・蹄の糜爛	○



6/1
B-2棟から
A-2棟へ
豚を移動

閉鎖式。
A-2 はほぼ全ての豚房
で発症豚確認
(4,5豚房しか使ってない)